

飯田市 歴史 ニュース



News-Letter NO.16

発行日 2005年6月1日
発行 飯田市歴史研究所
〒395-0002
長野県飯田市上郷飯沼3145
電話 0265-53-4670
ファクシミリ 0265-21-1173
E-mail iuhr@city.iida.nagano.jp

古島敏雄没後10年企画

古島敏雄の人と学問

飯田市歴史研究所では今年度、飯田出身の歴史学者、古島敏雄氏の業績を振り返り、学びなおすために、さまざまな企画を実施します。多くの方のご参加を期待しています。

なぜ今、古島敏雄なのか

今年8月は飯田市が生んだ偉大な歴史学者、古島敏雄(1912～95年)の没後10年にあたります。

古島はその生涯において、農業史・経済史を中心にすぐれた研究成果を次々と発表し、戦後の日本歴史学発展の基礎を築きました。その業績は「古島史学」とも呼ばれます。

古島の研究には、飯田市下久堅の平沢文書や大鹿村大河原の前島家文書、中馬関係史料など、下伊那地方の文書を用いたものが多くあります。下伊那に残されている豊富な歴史資料が、農村史や農業技術史、社会経済史の分野における彼の先駆的な業績を生み出し、のちの歴史学の水準を飛躍的に高めたのです。

古島は市村成人に古文書を学び、平沢清人に代表される地元の優れた研究者たちとも盛んに交流を深めました。飯田・下伊那の文化的土壌が古島の学問形成に大きな影響を与えたことがわかります。

古島の一連の業績はきわめて実証的であり、時代を超えて今なお歴史学を学ぶうえで必読文献といえます。また戦後の歴史学の担い手としてさまざまな分野で活躍した研究者の多くが古島のもとで学んでおり、温厚な人柄が今でも語り伝えられています。

現在飯田・下伊那では地域社会のあり方が大きな転換期を迎えつつあります。古島敏雄が遺した研究の意義を再確認して新たな課題を模索することは、今後の歴史学を発展させるために重要なだけでなく、飯田・下伊那における将来のあるべき地域像を見通すためにも大きな意味を持つといえます。



古島敏雄は数多くの著書を残しました。その主な成果は『古島敏雄著作集』に収められています。

人物紹介

飯田市出身の
歴史学者

古島 敏雄
ふるしま・としお



『日本歴史』567号(1995年8月)より転載

略歴

1912(明治45)年、飯田町(現飯田市)に生まれる。長野県立飯田中学校、第八高等学校を経て、東京帝国大学農学部農業経済学科を卒業。
1949(昭和24)年、『日本農学史 第1巻』により農学博士の学位を取得。
1959(昭和34)年より東京大学農学部教授、のち一橋大学経済学部教授(併任)を経て、東大定年後は専修大学教授となる。
1995(平成7)年8月29日、不慮の火災により百合子夫人とともに死去。83歳。

主な著書

『徭役労働制の崩壊過程』(1938年、著作集第1巻)
『近世日本農業の構造』(1943年、著作集第3巻)
『信州中馬の研究』(1944年、著作集第4巻)
『日本農業技術史』(1947・49年、著作集第6巻)
『日本農業史』(1952年、岩波書店)
『土地に刻まれた歴史』(1967年、岩波書店)
『子供たちの大正時代』(1982年、平凡社)

企画内容

みなさん
ご参加ください

- 第3回飯田市地域史研究集会
会 場：追手町小学校講堂
開催日：8月27日(土)～28日(日)
1日目 午後1時～
シンポジウム「古島敏雄の人と学問」
講演 山口啓二氏(近世史研究者)
関連報告 岩本純明氏(東京大学教授)
- 2日目
地域の歴史・民俗に関する研究報告会
- 読書会「古島敏雄をよむ」(詳細は2ページ)
- 飯田アカデミア2005
第3回講座(詳細は2ページ)
9月以降も続きます。おたのしみに…

6月、7月は、いつもの月例研究会にかえて、古島敏雄の著作の読書会をひらきます。事前にお申込み下さい。テキストを郵送しますので、当日までに読んでからご参加下さい。

■時 間 午後2時～4時
 ■場 所 飯田市歴史研究所研修室
 ■参加費 各300円(テキスト代)
 ■申込み 1週間前までに、歴史研究所へお申込み下さい。(☎0265-53-4670)

6/25 土

(『古島敏雄著作集』第4巻より)
「伊那街道における中馬の発達」

主著『信州中馬の研究』に先だって1939年に発表された論文です。江戸時代の伊那地方において、民間の陸送手段である中馬がどのように発展したのかがコンパクトに説明されています。飯田・下伊那の地域経済がどのように発展したのかを理解するために、もっとも基本的な文献だといえます。

読書会では論文の内容についてわかりやすく解説し、今この論文を読むことの意義をみなさんとともに考えます。

7/23 土

(『古島敏雄著作集』第8巻より)
「明治初年における農民階層分化」

この論文は、地租改正に先立って調査、作成された伊賀良大瀬木の地租改正地引帳をもとに、大瀬木の土地所有構造・農業生産を分析したもので、在地の史料を使った研究としては先駆的なものです。1938年に『農業経済研究』誌上に発表されたものですが、飯田下伊那の農業を知る上でいまだ重要な論文といえます。

この地域の農業についての理解を深めましょう。現実に農業経営にたずさわっている方からのコメントも期待しています。

飯田アカデミア2005

歴史学を中心とした専門研究者を講師にむかえ、最新の研究成果を講義します。各講座とも90分間の講義を4回、2日間にわたって行います。

第2講座

6月18日(土)
19日(日)

世界史を構想する
 :1900年前後と1990年前後の世界

講師:南塚信吾さん(法政大学教授・世界史研究所長)

わたしたちは「世界史」というものを言葉では分かっていても、なかなか実感はできないものです。しかし、わたしたちの過去と現在は世界史と密接に関連しているはずなのです。

これを実感するために、二つの時代の「世界史」を構想してみます。ひとつは、1900年前後の時代、つまり日清・日露戦争の時代で、今ひとつは1990年前後の時代、つまり社会主義の崩壊と湾岸戦争の時代です。これらの時代における世界の諸地域の連関と諸地域の抱える問題を検討してみましょう。

- 時 間
 1日目(土曜日) 13:00～16:30
 2日目(日曜日) 10:00～14:30
- 会 場
 飯田市歴史研究所(飯田市上郷支所庁舎)
 3F会議室
- 募集人員 各講座30人
- 受講料 資料代として500円(2日間分)
- お申込方法
 電話、ファクシミリまたはEメールで、飯田市歴史研究所へお申し込みください。
 ※ファクシミリ、Eメールでのお申し込みは 住所・氏名・電話番号を明記してください。

第3講座

7月16日(土)
17日(日)

シリーズ:古島敏雄の人と学問①
信州の村々と古島史学

講師:青木美智男さん(専修大学教授)

かつて日本近世史研究を志す者が手にする入門書は、児玉幸多さんの『近世農民生活史』と古島敏雄さんの『日本封建農業史』でした。お二人から近世の村や農業生産の移り変わりを学び、本格的な研究に入るのが普通でした。次いで古島さんの専門的な研究書を手にして、その学識の広さと深さに圧倒されたのです。

お二人とも信州生まれで研究の基点も信州です。信州の村々を素材に豊かな歴史像を描いた古島史学の真髄に迫ってみましょう。



募集

著書 論文

**飯田歴研賞
2005**

飯田下伊那の地域史研究における優れた著書・論文を表彰します。6月末までに推薦作品を歴史研究所までお送りください。自薦・他薦を問いません。

著書部門:2004年度発行の刊行物(自費出版物も含む)

論文部門:2004年度発表の論文

歴史研究所で審査を行い、8月27日、28日の研究集会にて表彰します。

募集 歴史研究活動助成（2005年度）

前年度に引き続き、地域史研究に関するみなさんの活動を助成します。

- ◆対象とする専門分野 歴史関係全般
- ◆応募資格
 - 飯田市内・下伊那郡内に住所を有する個人または団体
 - 大学の卒業論文・修士論文を作成するための研究を行う者
- ◆助成金額
 - 市民・郡民および卒業論文 10万円以内
 - 修士論文 15万円以内
- ◆申請手続
 - 提出書類 研究計画書
 - 提出期間 2005年6月14日(火)～7月9日(土)
- ◆助成の条件
 - 飯田・下伊那地域の素材を用いたオリジナルな歴史研究の成果であること
 - 新たに得た史料所在情報については、研究所に提供すること

○研究成果の発表を、所定の時期に研究所で行い、併せて研究所の刊行物を通じて公表することを原則とすること

- ◆審査方法 歴史研究所研究部が行う。
- ◆研究論文等の提出

研究論文等完成後、速やかに（2006年2月まで）論文等の複製を研究所に提出する。ただし、修士論文について、研究の初年度の場合は、中間報告書を2006年2月までに提出する。
- ◆助成金の交付

助成金の交付は、助成の条件などに関して必要な審査を行い、交付することが適当と認められたものについて、2006年3月までに行う。

※募集の詳細については、直接お問合せください。または歴史研究所のホームページをご覧ください。

貴重書庫を「くん蒸」

歴史研究所3階に完成した「貴重書庫」。この書庫内の大切な文書類を、将来にわたって虫の食害から守るため、文書類を搬入する前の4月23～24日の2日間、くん蒸作業を行いました。

作業は2つに分けて行いました。搬入する文書類のくん蒸と、書庫そのもののくん蒸作業です。搬入する文書類のくん蒸は、専用の車両を歴史研究所前に止め、文書類を積み込んで行いました。こちらは24時間じっくりと薬剤でくん蒸します。一方、書庫そのもののくん蒸は、内部の棚などを中心に薬剤を吹きかけて行います。こちらの作業は約半日で終了しました。

くん蒸の完了した文書類を、くん蒸の完了した書庫内に納め、温湿度管理を行って大切に保管します。今後新たに文書をこの書庫に納める際にも、必ずくん蒸作業を行なった上で収納し、万全な管理に努めます。

貴重書庫内のくん蒸作業。安全性の高い専用の薬剤を吹きかけていきます。



専用車両による文書類のくん蒸。薬剤を注入し、24時間密閉します。どちらの作業も効果を確認するテストを行っています。

歴研ゼミだより

参加者のみなさんと一緒に歴史の研究を行い、研究方法を学んでいただくための講座を開いています。「教える」ではなく「ともに学ぶ」ことを目指します。

4月・5月の内容

近世史ゼミ	4月12日	ガイダンス・年間計画立案	■テーマ	近世下伊那の民衆生活史
	4月26日	「田畑不耕作取締申渡」を読む	■対象	一般（どなたでも）
	5月10日	水源をもたない村（その2）	■開催日	隔週火曜日
	5月24日	部奈疎水のビデオを見る	■時間	午後7時～8時40分
			■担当	多和田雅保（研究員）
近現代史ゼミ	4月14日	年間計画立案	■テーマ	地域社会史入門～飯田町の記憶を探る
	4月28日	木村礎の地方史研究論に学ぶ 文献講読「私の地方史研究」（著作集Ⅳ）	■対象	一般（どなたでも）
	5月12日	文献講読 中村政則『労働者と農民』 「地主と小作人」「生糸と軍艦」	■開催日	隔週木曜日
	5月26日	文献講読 同上「地底の世界」「綿糸とアジア」	■時間	午後7時～8時40分
			■担当	田中雅孝（調査研究員）
現代史ゼミ 英語文献講読	テーマ「環境問題」		■テーマ	地域社会とグローバリゼーション
	4月13日	Introduction（はじめに）	■対象	高校生以上
	4月27日	The Stockholm Conference （ストックホルム会議）	■開催日	隔週水曜日 （前期：4月～9月 後期：10月～3月）
	5月11日	The 'Tragedy of the Commons' （「共有地の悲劇」）	■時間	午後7時～8時30分
	5月25日	Promoting Sustainable Development （持続的成長の推進）	■担当	鬼塚 博（研究員）

★各ゼミとも歴史研究所研修室で行っています。お気軽にご参加ください。

飯田市歴研 ジュニア・ライブラリー-1

『わたしたちの飯田線』



飯田線は長野県辰野町から愛知県豊橋市までを結ぶ全長195.7キロの鉄道です。電車は山の中をいくつもの鉄橋やトンネルをわたり走っています。こんな山の中をだれが何のために鉄道を通そうとしたのでしょうか？飯田線の歴史や、人びととの関わり、飯田線周辺の自然など、飯田線の魅力を親しみやすい文章と豊富な写真で存分にご覧いただけます。



定価 1200円 (本体+税)
 吉田忠正 著
 飯田市歴史研究所 監修
 B5判、堅牢製本、48頁、オールカラー
 ※歴史研究所、市役所行政資料コーナー、市内各書店等で販売しています。
 宅配希望の方は、送料290円(1部)で発送を承ります。
 問合せ：飯田市歴史研究所
 ☎0265-53-4670

歴研日誌 4月・5月

4月

- 12日 近世史ゼミ
- 13日 現代史ゼミ
- 14日
 - ・近現代史ゼミ
 - ・座光寺史料調査会
- 15日 『わたしたちの飯田線』小中学生に販売開始
- 19日
 - ・伊那谷総合治山事務所史料所在調査
 - ・下久堅和紙製造調査
 - ・海津郷土史研究会が研究所見学
- 23日 月例研究会「両大戦間期の地域金融構造―第百七十銀行の事例を中心に―」(田中雅孝調査研究員)
- 23日～24日 貴重書庫くん蒸作業
- 26日 近世史ゼミ
- 27日 現代史ゼミ
- 28日
 - ・近現代史ゼミ
 - ・座光寺史料調査会
- 29日 旧滝沢医院建物再生委員会
- 30日 「飯田線駅弁コンクール」(豊橋市)で『わたしたちの飯田線』販売

5月

- 8日 三穂村農村更生運動について聞き取り調査
- 10日 近世史ゼミ
- 11日 現代史ゼミ
- 12日
 - ・近現代史ゼミ
 - ・長野県史料保存活用連絡協議会総会・講習会に出席
- 14日 「信州飯田ふるさと会連合会総会」(都内)で『わたしたちの飯田線』販売
- 14日・15日 飯田アカデミア2005「室町・戦国期の伊那谷と国政運営」を開催。講師は井原今朝男さん(国立歴史民俗博物館教授)
- 19日
 - ・市行政文書移管開始(～6月6日)
 - ・市内小学校史料調査
 - ・下久堅滝沢なるみ氏聞き取り調査
- 21日 月例研究会「享保期飯田の塩肴公事と市場」(吉田伸之東京大学教授)
- 23日
 - ・都市景観シンポジウム(都内)参加
 - ・市議会総務文教委員会が研究所視察
- 24日
 - ・近世史ゼミ
 - ・飯田市大門町史料所在調査
- 25日 現代史ゼミ
- 26日
 - ・座光寺史料調査会
 - ・近現代史ゼミ
- 28日・29日 歴史学研究会大会(明治大学)出席

6月・7月のスケジュール

2005年 6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	近7	8	現9	10	11
12	13	14	15	16	17	あ18
あ19	20	近21	英22	現23	24	読25
26	27	28	29	30		

2005年 7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	近5	英6	現7	8	9
10	11	12	13	14	15	あ16
あ17	18	近19	英20	現21	22	読23
24	31	25	26	27	28	29

- 開所日
 休所日
 あ…アカデミア
 読…古島敏雄をよむ
 近…近世史ゼミ
 現…近現代史ゼミ
 英…英語でよむ現代史ゼミ
- 開所時間 午前9時～午後5時
 休所日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

